

楠本碩水 字松菴 舊平戶藩儒。天保三年一月二十六日肥前國彼杵郡針尾島生れ、大正五年十一月二十二日歿（八三—一九二六）。楠本端山の弟。諱字嘉、字古甫、幼名虎二郎、通稱謙三郎、佐々字嘉。別號天逸、蕉雨齋主人。月田蒙齋、佐藤一齋、木下犀潭、草場佩川等と學ぶ、兄と共に崎門學（山崎闇齋の學統）を踏む。藩賢維新館教授。維新後、貢士、漢學講官、大學少博士を歴任。明治三年平戸に歸り、うち郷里の私塾鳳鳴書院で子弟を教育。

著書に、『碩水先生遺書』全四冊（楠門會編、大正七年十一月—二十三年）守待室藏板、漢口日報社）、『碩水先生餘稿』全二冊（岡直養・貞方研編、昭和四年八月五日谷門精舎）、『碩水先生詩略』（内田周平編、昭和十年六月十五日谷門精舎）等。また、『碩水先生古稀引翼集』（岡田康治編、明治三十五年十月—二十二年熊本・藤田鍾次郎刊）、『碩水文庫目録』（昭和九年九月序、九州帝國大學附屬圖書館）がある。

